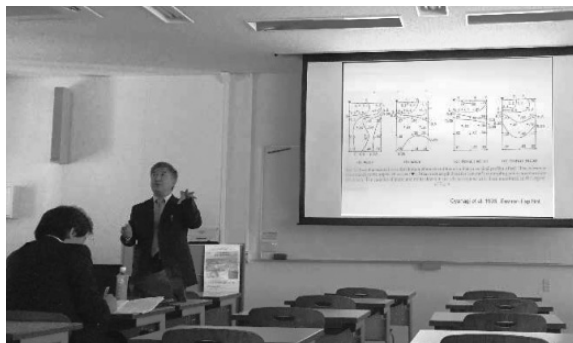
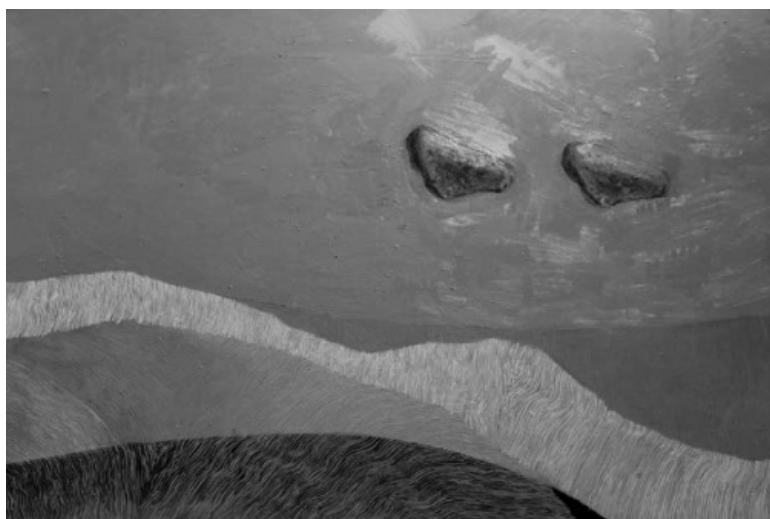


おあしす

2018年10月27日 日本沙漠学会 秋季シンポジウム (鹿児島大学 農学部 農・獣医共通教育棟 307 講義室)



「作物の根の可塑性と機能」と題して発表された下田代智英氏 (左写真) と「塩生植物、耐塩性植物の特質と農業的環境修復」と題して発表された志水勝好会員 (右写真) (写真提供: 吉川賢)



「海岸沙漠 (細部)」
(イラスト提供: 秋田公立美術大学・上江洲里美)



懇親会で挨拶する吉川会長 (写真左), 司会を務めた遠城道雄氏, 発表者の下田代氏, 学生さんらをはさんで志水会員, 石川会員, 渡邊副会長 (写真右). (写真提供: 島田沢彦)

日本沙漠学会 沙漠工学分科会 第32回 講演会のお知らせ

沙漠工学分科会では、「沙漠×ソーラー，太陽・水・土の共生」をテーマに，第32回講演会として，下記の通りシンポジウムを開催いたします。沙漠工学分科会員，沙漠学会員のみならず，多くの皆様方のご参加をお待ちしております。奮ってご参加のほど，よろしくお願い申し上げます。なおこの度の講演会は，東京農業大学総合研究所研究会グローバル情報研究部会および，同沙漠緑化研究部会との合同開催です。

平成31年2月4日

沙漠工学分科会長 田島 淳

記

テーマ：『沙漠×ソーラー，太陽・水・土の共生』

日時：平成31年2月26日（火）12：55から

場所：東京農業大学 世田谷キャンパス 横井講堂（アカデミアセンター地下）

http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html

合同開催：東京農業大学総合研究所研究会グローバル情報研究部会および沙漠緑化研究部会

講演プログラム：

12：55～13：30 開会の挨拶 グローバル情報研究部会長 立岩 寿一 氏（東京農業大学教授）

13：00～14：00 「ジブチの沙漠に緑を－SATREPSプロジェクトによる持続可能アグロパストラルシステムの実装－」
東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科 教授 島田 沢彦 氏

14：00～15：00 「モンゴルの過放牧と環境汚染」
三重大学 農学部 資源循環学科 准教授 吉原 佑 氏

15：00～16：00 「ソーラーシェアリング（営農型太陽光発電）の現状」
農林水産省 食料産業局 バイオマス循環資源課 再生可能エネルギー室長 鎌田 知也 氏

16：10～16：40 総合討論

16：40～16：45 閉会の挨拶 沙漠緑化研究部会長 豊田 裕道 氏（東京農業大学客員教授）

17：00～ 情報交換会 場所：レストランすずしろ

参加費：シンポジウム 総研研究会会員・教職員・学生 無料

一般 2,000円

情報交換会 2,000円

参加申込：登録フォーム <https://www.nodai.ac.jp/nri/regist/>

【締切】平成31年2月20日まで

問い合わせ先 東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科

分科会 幹事 鈴木 伸治 E-mail：s4suzuki@nodai.ac.jp



日本沙漠学会 2019 年 第 30 回学術大会および 30 年記念式典開催のお知らせ

1. 大会概要

日 時：2019 年 5 月 25 日（土）～26 日（日）
 場 所：東京農業大学 世田谷キャンパス
 〒 156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
 アクセス http://www.nodai.ac.jp/access/map_s.html

2. 研究発表申し込み

発表申し込み締め切り：2019 年 3 月 1 日（金）必着
 発表形式は口頭もしくはポスターのいずれかとなります。なお、申込者数・会場スペースの都合により、調整させていただく事がありますので、あらかじめご了承ください。口頭発表は、プロジェクターによる PC ファイル（PDF, ppt 等）での発表となります。
 申し込みは、締め切り日までに E-mail または郵送（期日必着）で、以下の様式にそって必要事項を記入の上、実行委員会事務局へお送りください。申し込まれた方には、講演要旨の様式・発表時間等をお知らせします。
 発表要旨締め切り：2019 年 3 月 25 日（月）（ご相談ください）

3. 参加申し込み

参加申し込み締め切り：2019 年 5 月 13 日（月）必着
 3 月発行予定の学会誌（28 巻 4 号）同封のはがきにて、会員の方すべてがご回答ください。ご欠席の場合でも総会成立のためには委任状が必要となります。またご出席の場合には事前登録扱いになり参加費が割引になります。

4. 記念式典

東京農業大学 世田谷キャンパス 横井講堂（アカデミアセンター地下）
 2019 年 5 月 25 日（土）、15：00～

5. 特別検討会「新たな沙漠研究を展望する」

東京農業大学 世田谷キャンパス 横井講堂（アカデミアセンター地下）
 2019 年 5 月 26 日（日）、10：40～

6. 参加費

大会・記念式典	日本沙漠学会正会員・名誉会員・賛助会員	：4,000 円
	学生会員	：2,000 円
	会員以外	：6,000 円
	（事前登録者については予稿集 1 冊含む）	
予稿集	1 冊	2,000 円
情報交換会	レストラン「すずしろ」（予定）	
	日本沙漠学会正会員・名誉会員・賛助会員	：4,000 円
	学生会員	：3,000 円

7. 問い合わせ・研究発表申し込み先

第 30 回 日本沙漠学会学術大会実行委員会 事務局
 〒 156-8502 東京都世田谷区桜丘 1-1-1
 東京農業大学地域環境科学部生産環境工学科 鈴木 伸治
 E-mail : jaals-30@nodai.ac.jp
 [委員長] 渡邊文雄（東京農業大学）
 詳細はホームページ <https://www.jaals.net/> をご覧ください。

----- 研究発表申し込み様式（下記の項目に従ってご記入下さい） -----

1. 発表種別：(口頭 or ポスター)
2. 題目（和文）：
3. 題目（英文）：
4. 発表者氏名： ※なお，登壇者は2018年度学会員であることを要します。
5. 発表者所属：
6. 概 要：(和文200字)
7. 連絡先：(氏名，住所及びTEL/FAX番号，E-mailアドレス等連絡方法)
8. ポスター発表の希望者で，発表者が下記ベストポスター賞の対象者としての条件を満たす場合は，審査の対象分野（理系 or 複合系）を記載してください。

日本沙漠学会 2019 年 第 30 回学術大会におけるベストポスター賞について

日本沙漠学会では、学術大会においてポスター発表をする若手会員を対象に、内規第 11 条に基づいてベストポスター賞を設けています。若手会員は、ぜひチャレンジしてください。なおベストポスター賞の受賞式は、学術大会の期間中に開催される懇親会にて執り行う予定です。

第 11 条 学術大会ベストポスター賞に関する内規（抜粋）

- (2) 受賞候補者は原則として、当該年度において満 35 歳以下の発表者とし学部生、大学院生と大学院修了・中退後 3 年未満の者などとする。なお受賞候補者は、会員で、かつポスターの説明者とし、第一著者でなくてもよい。さらに、当該年度において 36 歳以上の会員が受賞候補者としての選考を希望する場合には、その理由書を学会賞審査委員会（以下、審査委員会）（幹事）宛に郵送しなければならない。
- (3) 対象分野
本賞の対象分野は理系、複合系からそれぞれ 1 件を選出する。選考対象の発表がない場合は該当なしとする。なお、受賞候補該当者は、発表申込時に、どの系での審査を希望するか明記することとする。
- (4) 審査方法
・採点者は、以下の 2 項目について採点する。
 - a. 研究内容（目的・意義、研究方法、結果・考察、成果、発展性など）
 - b. ポスター表現とポスターを用いての説明技術、熱意など

問い合わせ先：

日本沙漠学会 総務委員／学会賞審査委員 E-mail : jaals@kyouritsu-online.co.jp

第 30 回学術大会 特別検討会「新たな沙漠研究を展望する」話題提供者の募集

日本沙漠学会会長
吉川 賢

日頃より日本沙漠学会の活動に多大なご協力をいただき、誠に有り難うございます。本年5月25、26日に開催される学術大会（場所：東京農業大学世田谷キャンパス）は、30回を迎えることとなりました。これは一重に、これまでの会員諸氏のご努力とご協力の賜物と、深く感謝しております。第30回記念大会を開催するにあたり、これまでの成果を踏まえ、本学会の今後の活動方針について広くご意見を伺い、10年後、20年後の沙漠研究の姿を展望することを目的として、以下のような「特別検討会」を開催することといたしました。副題を「新たな沙漠研究を展望する」とし、日本沙漠学会を世界の持続的な発展を支える科学・技術の研究母体へと飛躍させるための方途を皆様とともに考えようとするものです。

討論会では、沙漠工学分科会、乾燥地農学分科会、沙漠誌分科会、風送ダスト研究会からの話題提供に併せ、同様の趣旨で、個人で検討会に登壇していただく方を募集いたします。本学会は文理融合を大きな目標として標榜としておりますことから、文と理が融合した沙漠研究の在り方についても討論していただければと思います。研究の展望を上記特別検討会で発表していただき、総合討論で、さらに忌憚のない意見交換をしていただく予定にしております。

将来的には、この検討会の結果を受けて、研究プラットフォームを形成し、会員相互の研究の緊密化を図りながら、これまで以上の沙漠研究の発展を目指し、外部資金獲得に向けた活動を推進するためのタスクフォースを立ち上げる予定です。こうした活動によって、沙漠研究の成果とそれを担う研究人材の質と量をとともに向上させることが究極の目的です。

皆様からの応募を、心よりお待ちしております。

公募〆切：2019年3月29日（金）（ご相談ください）

連絡先：東京農業大学 地域環境科学部 生産環境工学科
鈴木伸治（日本沙漠学会総務担当）
s4suzuki@nodai.ac.jp

（参考）

特別検討会「新たな沙漠研究を展望する」議事次第（案）

1. 開会挨拶、趣旨説明 吉川賢（5分）
2. 話題提供 （各10分）
 - ・ 沙漠工学分科会
 - ・ 乾燥地農学分科会
 - ・ 沙漠誌分科会
 - ・ 風送ダスト研究会
 - ・ 公募話題提供者（2名程度）
3. 総合討論（30分）
4. まとめ、閉会挨拶 窪田順平（5分）

司会 窪田順平

検討会は学術大会2日目の5月26日（日）午前10時40分から開催し、全体で100分を予定しております。話題提供者の方には、各10分の発表をお願いいたします。最後に総合討論（30分）を行う予定です。

会 告

日本沙漠学会正会員 各位

日本沙漠学会会長 吉川 賢

日本沙漠学会 30年記念特別顕彰『功労賞』候補者推薦のお願い

日本沙漠学会賞規程にもとづき、30年特別顕彰として、功労賞の受賞候補者を下記の要領で募集いたします。ご推薦下さるようお願い申し上げます。

記

1. 今回募集する学会賞の種類

- (1) 日本沙漠学会 特別顕彰 功労賞：原則 15年以上の正会員歴を有する 65歳以上の正会員で、長年に渡り本学会に功労した会員。
- (2) 基準日：2019年3月31日

2. 推薦期限 2019年3月15日（金）（ご相談ください）

3. 推薦方法

以下の書類を期限までに学会賞審査委員会（幹事）宛に、郵送またはメールで送信してください。なお、推薦には「自薦」は含まれません。

様式-Aの推薦書 1部
推薦に関連する資料 1組

4. 選考 学会賞審査委員会

5. 書類送付先（照会先）

〒156-8502 東京都世田谷区桜丘1-1-1 東京農業大学 地域環境科学部
生産環境工学科 地水環境工学研究室 気付 鈴木伸治
Tel：03-5477-2351 Fax：03-5477-2620 E-mail：s4suzuki@nodai.ac.jp

6. その他

郵送された書類は、返却しません。必要な場合には予め写しをとっておいて下さい。

様式一A

(日本沙漠学会 顕彰 功労賞用)

年 月 日

日本沙漠学会 特別顕彰 功労賞 推薦書

1. 推薦者 所属：
氏名： 印
住所・電話
2. 被推薦者 所属：
氏名： 生年： 年 月 日
住所・電話
入会年： 年
3. 推薦業績 題目：
4. 推薦理由
5. 推薦業績に関する資料リストなど

————— (記入上の注意) —————

- 1) A4用紙の縦長，横書きとしてください。
- 2) ワードプロセッサを使用し，明朝体12ポイントで印字して下さい。
- 3) 上下，左右の余白は2cm以上に，1行は35～40字，1頁は35～40行にして下さい。
- 4) 4.の推薦理由は，箇条書きの場合は，それぞれ約100字以内で説明を加えて下さい。
箇条書きでない場合は，全体で400字程度で簡潔に記載して下さい。
- 5) 5.の資料は，コピー等を添付して下さい。

学会記事

日本沙漠学会第 137 回理事会 議事録

日時：2018 年 10 月 27 日（土）12：00～14：00

場所：鹿児島大学農学部 農・獣医共通教育棟
33 セミナー室

出席：吉川 賢（会長）、森尾貴広、渡邊文雄（以上、副会長）、窪田順平、酒井裕司、島田沢彦（以上、理事）、川端良子（編集委員）、石川祐一（乾燥地農学分会会長）

委任状：小島紀徳、小長谷有紀、鈴木伸治、高橋新平、豊田裕道、中村 徹、渡邊三津子（以上、理事）、田中 徹、矢沢勇樹（以上、監事）

I. 審議事項

1. 第 30 回学術大会・30 年記念式典

- ・渡邊実行委員長よりプログラムの素案が提示され、了承された。
- ・記念式典にて、永年功労賞の授与と感謝状の贈呈を行うことが承認された。受賞候補者の推薦を受け付ける。

2. 30 年記念事業について

- ・記念誌について森尾副会長から入稿の状況について説明があり、タイトルを「日本沙漠学会 30 年からの挑戦」と決定した。
- ・座談会について、9 月 3 日に国立民族学博物館で行った旨、吉川会長から報告があり、原稿作成を依頼中であることを確認した。
- ・新沙漠の事典について、石川会員から説明があり、出版に関する検討事項を確認した。

3. 財務関連

- ・学会を受け皿とした共同研究等の促進について、地球惑星連合の研究費助成や日本学術会議のマスタープランに関する情報、学会誌上での研究アイデアのブラッシュアップ等について意見が交換された。会長主導によるタスクフォースを組織する予定である。
- ・理事会での旅費の支出について、スカイプ会議の促進を前提に検討することが確認された。

4. DT (Desert Technology) について

- ・DTXII の減額交渉について定期的に催促している

旨、森尾副会長より報告がなされた。

- ・IDC (International Desert Council) との協議について、吉川会長より進捗の報告があった。
- 5. 会員数減少への対策についての検討
 - ・Impact Journal 化、査読料の軽減等について議論した。今後検討を続ける。

II. 報告事項

1. 投稿論文審査状況等

- ・酒井編集委員長より、28 巻 1 号より編集体制を(株)共立に移行した旨が報告された。
- ・DTXIII の査読状況についても報告があった。
- ・学会 HP や J-Stage に掲載されていないバックナンバーについて、PDF 化を進めている。
- ・倫理規定を英文化し、Scopus への登録申請について検討を進める。

2. DTXIV の準備状況

- ・川端実行委員長より報告があった。
- ・静岡県賀茂郡松崎町にて 2020 年 9 月 7 日（月）～11（金）に開催する。
- ・会場は松崎町役場多目的ホール、宿泊は西伊豆松崎伊藤園ホテルと伊豆まつぎ荘。
- ・第 30 回学術大会（30 年記念式典）より広報を開始する。Editorial Board の人選もこの時期までに決定する予定。

3. 「沙漠の事典」図版の学会 HP への掲載

- ・島田総務担当理事より、掲載が完了した旨の報告があった。

III. その他

- ・今後の学術大会・シンポジウムの日程と開催地の確認がされた。2020 年度の秋季シンポジウムについては、超域シンポジウムの案や DTXIV との合同開催などが提案された。
- ・気候影響・利用研究会より、第 60 回風に関するシンポジウム（12/1、立正大学）への共催の依頼があり、承認された。
- ・第 138 回理事会：2019 年 1 月 5 日（土）（東京都内）。

日本沙漠学会第 138 回理事会 議事録

日 時：2019 年 1 月 5 日（土）15：00～17：00

場 所：女性センター プール 21

出 席：吉川 賢（会長）、森尾貴広、渡邊文雄（以上、副会長）、田中 徹、矢沢勇樹（以上、監事）、窪田順平、小島紀徳、酒井裕司、鈴木伸治、高橋新平、豊田裕道（以上、理事）、安部征雄（以上顧問）、田島 淳（沙漠工学分科会長）、石川祐一（乾燥地農学分科会長）、的場泰信、齋藤哲治（オブザーバー）

委任状：小長谷有紀、島田沢彦、中村 徹、渡邊三津子

I. 審議事項

1. 未納の会員の対応

・多年度未納の会員について確認した。理事による個別の対応ができる会員については声かけを行う。

2. 会員数減少への対策

・学会へのニーズに関するアンケート実施、学会の知名度向上、若手の支援、投稿料の軽減、会員数増加等について意見を交換した。
・次回の理事会までに具体案を検討し、報告する予定。

3. 財務関連

・理事会での旅費について、支出を行うことを確認した。スカイプの導入を前提に、次回の理事会までに具体案を検討し、報告する予定。

4. 外部資金獲得のためのタスクフォース

・学会を受け皿とした共同研究の促進等について検討した。
・シンクタンクとしての位置づけ、SDG's との関連性、NPO 法人として活動する場合の留意点、草の根技術協力事業、学会員個人へのサポート、クラウドファンディング等について意見があった。

II. 報告事項

1. 第 30 回学術大会・30 年記念式典

・渡邊実行委員長より、プログラム案をもとに準備の進捗が報告された。
・学会が目指す先を考えることを目的に、分科会を

ベースに特別セッションを企画することとした。

2. 30 周年記念事業

・矢沢監事より全体的な進捗状況が報告された。
・森尾副会長より、記念誌「日本沙漠学会 30 年からの挑戦」について、原稿入稿状況等が報告された。
・新沙漠の事典について、石川会員から進捗の報告があった。いくつかの出版社に打診している。

3. 編集関連

・酒井編集委員長より、投稿論文審査状況およびレビュー論文の依頼について進捗の報告があった。
・Scopas 対応を鑑み、倫理規定の英文案が提示され了承された。

4. DT (Desert Technology)

・DTXIV の進捗について報告があった。
・DTXII 費用について、交渉後の額が入金される予定であることを確認した。
・IDC との協議について、吉川会長より進捗の報告があった。

5. 2018 年度学会賞受賞候補者推薦

・現時点で推薦がないことが報告された。

6. 2019 年・2020 年秋季シンポジウム

・2019 年は横浜情報文化センターで開催される。テーマは「アラビア半島オアシス生活 50 年の持続と変容（案）」。沙漠誌分科会からの提案。
・2020 年の企画を検討中。次回理事会までに提案予定。

7. 「おあしす」の内容確認

・作成中である。

8. 2018 年秋季シンポジウム（鹿児島大学、10/27）

・会計報告がなされた。

III. その他

・今後の学術大会・シンポジウムの日程と開催地を確認した。

・第 139 回理事会 & 第 32 回評議員会：2019 年 4 月 20 日（土）（東京都内）

* * * * * 会 員 動 向 * * * * *

●新入会員

なし

●退会会員

正会員

丁子 哲治

学生会員

堀内 早紀

***** 賛助会員・団体会員名簿 *****

アースアンドヒューマンコーポレーション	194-0041	町田市玉川学園 8-3-23	Tel : 042-710-7661
株式会社ウイジン	158-0097	世田谷区用賀 2-12-14	Tel : 03-3700-0531
NTC インターナショナル株式会社	164-8721	東京都中野区本町 1-32-2	Tel : 03-5354-3621
株式会社大林組技術研究所	204-8558	清瀬市下清戸 4-640	Tel : 0424-95-1060
